



# あと一步の向上に向けた取組

## 函館市立旭岡中学校

生活習慣・学習習慣の形成      基礎的・基本的な知識・技能の習得      望ましい学習態度の育成      学校組織・指導体制の改善

### 1 学力向上の具体的な方策

- ◎指導と評価の一体化を図るため、1単位時間の目標と学習活動、評価規準を整理し、努力を要する生徒への具体的な手立てを明確にする。
- ◎授業に「言語活動」を位置づけ、「文章にまとめる力」、「発表する力」、「聞きとる力」、「伝える力」を意識した表現力を育てる。
- ◎各種テストや調査の結果を分析し、課題となる部分の指導の手立てを全教職員で共通理解し実践する。

### 2 取組の概要

- ☆「評価」に関する学習会を開催し、観点別の評価規準の見直し、観点項目のバランス、評価の方法等について研修会を開催し理解を深めた。
- ☆実態に即した評価をするために、ワークシートの作成方法や自己評価表、相互評価表、グループ評価表などについて研修を行った。
- ☆指導案の作成について、目標と評価の一体化を図り、評価規準（B観点）と評価方法、努力を要する生徒への手立てについて学習指導案に明記し、授業参観のポイントを絞って参観してもらい、全教科について授業交流を行った。
- ☆授業に「言語活動」を位置づけ、「要点をまとめながら文章を書く」「正しい言語で発表する」「質問の意図を理解して聞く」「自分の考えを伝える」場面を設定し、効果的な取り組みの成果について交流を行った。
- ☆各種テスト、CRT、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題となった部分について、改善の手立てを明確にした。また、改善の手立てについて全教職員で共通理解を図り、授業に取り入れたり、放課後や長期休業中の補習活動で実施した。

### 3 成果（○）と課題（●）

- 学校評価生徒アンケートで、放課後学習や、長期休業中の補習の継続を希望する意見があり、学習に対する意欲が向上している。また、個々の基礎学力に合わせた学習プリントを活用した個別指導を行ったことで、学習内容の定着が図られた。
- 「言語活動」を意識した場면을授業に意図的に取り入れたことで、話し方、聞き方、まとめ方、発表の仕方等の基礎的事項が身につく、積極的に授業に参加する生徒が増えた。
- 「言語活動」を授業に位置づける場合の、ワークシートの工夫や、評価の方法、評価の観点やみとり方等について校内研修会を通して共通理解を図り、授業力向上の取り組みをする必要がある。
- 家庭学習を定着させる取り組みを工夫し、くりかえし学習の習慣化を図る必要がある。
- 全体で取り組んだ課題解決の方策について、成果の検証を細部にわたって行う必要がある。